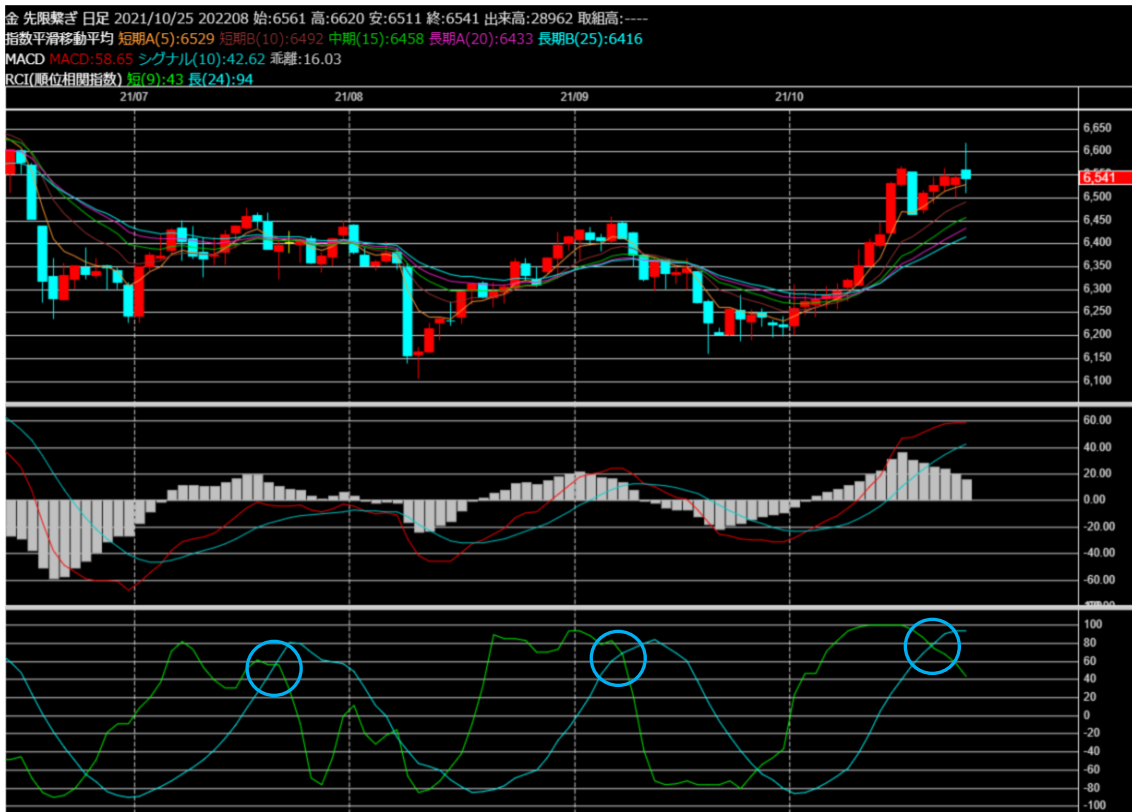


<金標準先物、タイムラグの高値追いも FOMC に向け下値追いへ・・・>



(出所：オアシス)

パウエル FRB 議長は南アフリカ中銀主催のパネル討論会で「われわれは資産購入のテーパリング開始へと順調に向かっており、経済がおおむね想定通りに展開すれば、来年半ばまでに完了する見通しだ」と言及し、また価格を上昇させているサプライチェーンの制約が和らげばインフレ率は低下するとの認識を示していると述べており、そのため週末に NY 金が一時的に 1800 ドルを超えて、金標準先物も 6620 円まで高値を試したが、パウエル発言を受けて急落している。

また中国の恒大集団の信用リスクもデフォルト認定を控える中で利払いが実施されており、恒大集団のデフォルトリスクも後退している。

そのため金標準先物は、来月 11 月 3 日に開催される FOMC に向けて、利益確定から再度下値追いを試す可能性は高まると予想され、週末の安値 6511 円を下回る値動きには注意が必要と思える。

(2021年10月24日記載)

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD において **MACD** と **シグナル** の乖離を示すヒストグラムが縮小しており、基調の高値追いは目先ピークアウトした可能性が高いと思われる。また RCI では **短期** が **長期** を下回るデットクロスが発生しており、**長期** が下落に入るタイムラグも終えていることから、基調は下向きに変化する確率が高くなると予想される。